

市指定文化財<絵画>

あんこくじねはんず
安国寺涅槃図

指定日 昭和42年3月24日

所在地 菊池市泗水町豊水 安国寺



涅槃図は、釈尊(しゃくにょらい)が沙羅双樹の下で涅槃に入る(死ぬこと)時、頭を北、顔を西、右脇腹を下に臥して、周囲には弟子を始め、菩薩鬼畜などが泣き悲しむ様を描いた絵である。

安国寺涅槃図は、縦が245cm(内法で190cm)、横が163cm(内法で140cm)の掛軸で、制作年は定かではないが、永正6年(1509)久米原の戦いの後と伝えられる。

平成11年(1999)に、古びた絵の補修が行われている。

久米地区では、釈尊年忌の2月15日に涅槃会が行われる。釈尊の遺徳をしのび、報恩の意を表す法会で、村人は三々五々と寺を訪れ、御堂正面に掲げられた涅槃図に手を合わせ、それぞれの思いを込めて祈り、静かなる1日を過ごす。